

平成30年度事業報告

特別養護老人ホームあらしま苑では法人基本理念の基、事業活動に取り組みました。

1. 目標

(1) 法人理念

『豊かな感性と優れた専門知識を礎に、医療・福祉の連携を通じて、この地域社会に貢献し、和の心を大切に持って自己能力を高め、社会福祉法人の一員としての誇りを持ち、恒に積極的に行動し社会責任を果たすこと。』

(2) あらしま苑運営方針

入所者の気持ちに寄り添いながら『自分らしく暮らす』ための支援をしていきます。

(3) あらしま苑行動方針

- ① 利用者及び家族満足の強化
 - ② 職員満足の向上
 - ③ 地域との連携
 - ④ 施設経営目標
施設の稼働効率を高め、経営の安定を目指します。
入所率 定員の98%以上（月平均79名以上）
利用者の平均要介護度4へと上げていく
短期入所生活介護の提供（空床利用）
- 上記の目標に沿って事業運営を実施いたしました。内容については以下のとおりです。

2. 運営状況

(1) 月別稼働率（平均99.6%）（ss含）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
99.8	99.6 (0.2)	99.6	99.9	99.8	100	99.5 (0.1)	99.8	99.8	99.5	99.3	99.5

(2) 月別入退所状況

①入所 23人（男性8 女性15）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	1	3	2	0	2	2	1	3	2	2

②退所 24人（男性4 女性20）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	2	2	2	0	2	2	1	3	2	3

(3) 年間入退所先状況

① 受入先 (23 人)

老人保健施設	特定施設	医療機関	家庭	G H	サ高住
7	2	7	4	2	1

② 退所先 (24 人)

当苑で死亡	病院で死亡	療養病院
15	5	4

(4) 入所者状況 (平成 31 年 3 月末現在 : 男性 17 人 女性 63 人)

① 地区別入所者数

地 区	鳥羽市	志摩市	伊勢市	南伊勢町	津	県外
人 数	59	9	4	3	2	3

② 年齢別入所者数 (平均年齢 86.8 歳 男性 86.4 歳 女性 86.9 歳)

年齢別 性別	65 歳未満	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~
男性	0	0	0	1	5	7	4
女性	1	3	0	2	11	19	27

③ 要介護度別入所者数 (平均要介護 3.9)

要介護度 性別	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性	0	2	3	7	5
女性	0	4	14	28	17

④ 経管栄養者・インスリン対応の入所者数

胃瘻	7
インスリン	2

3. 事業実績

(1) 行事・ボランティアの協力等

月 日	内容	参加人数	備考
毎月 2 回	職員による喫茶開店(2 階)	全員	
毎月 2 回	介護相談員の受入	各ユニット	鳥羽市介護保険係

4月	16日	日本舞踊	全員	青舞会 10名
5月	24日	誕生会：ホットケーキ作り	夏ユニット	セミパブリックスペース
	29日	ドライブ	春ユニット	鳥羽市内
6月	8日	入居者健康診断 (胸部X線撮影)	全員	三重県健康管理事業センター
	24日	誕生会：パフェ作り	コスモス	
		誕生会：伊勢うどん作り	さくら	
	28日	民謡	全員	志摩視覚障害者福祉会7名
7月	4日	歌謡ショー	全員	なかよし会 2名
	6日	綿菓子を楽しむ会	すいせん	
	22日	誕生会：プリンホイップクリーム作り	すいせん	
	27日	鳥羽みなと祭り(花火鑑賞会)	全員	ユニットテラスで鑑賞
8月	3日	流しそうめん	全員	
	8日	入居者血液検査(一回目)	全員	東谷医院
9月	3日	敬老会	全員	鳥羽市長訪問 かっぱちゃん 8名
	10日	敬老のお便り(鳥羽市小学生)	全員	鳥羽郵便局
10月	28日	誕生会：プリン	秋ユニット	
	29日	運動会	全員	
11月	1日	インフルエンザ予防接種	全員	
12月	20日	クリスマス会(長尾オルガンの演奏とコーラス)	全員	鳥羽市民コーラスはまおぎ 10名
	23日	クリスマス会：ケーキ作り	秋ユニット	
	24日	クリスマス会：ケーキ作り	冬ユニット	
		カップラーメン・伊勢うどん	さくら	
	25日	クリスマス会：チョコレートケーキ作り	ききょう	
		クリスマス会：ケーキ作り	あんず	

1月	1日	新年のお祝い(祝い膳)	全員	
	20日	誕生会：焼きそば・プリン	春ユニット	
2月	22日	誕生会：プリン	秋ユニット	
	25日	にぎり寿司	全員	
3月	4日	入居者血液検査(二回目)	全員	東谷医院
	10日	お楽しみ食事会	さくら	

4月16日青舞会さん

12月20日鳥羽市市民コーラスはまおぎさん



(2) 各種委員会の活動

事故防止委員会 (1回/月)	ひやりはっと・事件事例を検証、原因を究明し、再発防止策、改善に向けた活動の取り組みを行いました。また、見守り機器を安全かつ有効的に活用するための検討をしました。
身体拘束・虐待防止委員会 (1回/月)	身体拘束の現状を把握し、廃止の方向で検討しました。 全職員が虐待防止チェックを実施しました。 身体拘束実施者(3月末現在4名)
感染症・褥瘡委員会 (1回/月)	感染症に対する職員教育・指導(感染予防・感染対策)。 マニュアルを見直しました。 定期的な創の状態を把握、管理等について検討しました。また、褥瘡防止器具等の使用方法、褥瘡予防等の職員指導を行いました。
給食委員会 (1回/二ヶ月)	委託業者も参加して給食等への要望、改善点、行事食などを検討しました。
福利厚生委員会 (随時)	福利厚生事業実施状況：新人歓迎会(7月)職員忘年会(12月)職員旅行(9月～11月)

ユニットリーダー、看護会議（1回／月）	入居者の生活改善（レクリエーション、環境の整備等）、業務の見直しについて検討しました。 月1回、協力歯科医師の訪問による技術的助言及び指導にて口腔ケア維持改善を行いました。
教育員会	新人、中途採用者の教育指導について検討しました。 施設内研修の企画、施設外研修の伝達をしました。 学生ボランティアの受入れをしました。
看取り委員会	入居者・家族が希望する看取りについて検討しました
リスクマネジメント・運営会議・人権・衛生委員会（1回／月）	各部署の活動報告、施設運営について検討しました。 職員の安全衛生管理体制等について検討しました。
安全委員会 喀痰吸引等実施研修委員会（1回／月）	介護職員によるたんの吸引等の計画・実施等について検討しました。（3月末現在 胃ろう 7名） 実施研修修了者2名
サービス担当者会議 （各ユニット月1回）	入居者が自立した日常生活を営むことができるようにサービス計画を各担当者と検討しました。

(3) 苦情相談状況（7件）

	対象者・内容	対応策
上 期	①女性 79 歳・要介護 5 長女様が職員に対し不信感を訴えた。「母親が職員に抓られると私に話をする。」	介助方法により不信感を抱かせたことをお詫びする。普段から本人・家族様とコミュニケーションを図り、良好な関係を作る。
	②女性 96 歳・要介護 4 長男様より「母親に対し口調がきつい職員さんが一人いる。心配です。」と申出がある。	本人様に不安なく安心していただける声かけ、意識を持って優しく対応する指導をすることを伝え、お詫びする。
	③男性 84 歳・要介護 4 妹様より「兄が職員さんにオムツが濡れていても替えてくださいと言えない環境であると話をする。兄と話をして良い関係作りをお願いします。」と申出がある。	今まで以上に職員から声かけを行い、話しやすい環境づくりをすることを伝え、お詫びする。
	④女性 84 歳・要介護 4 長男様より「職員からの電話で母親の転倒の報告があったが、受け答えが不十分である。」と申出がある。	報告の仕方を指導していくことを伝えお詫びする。

下 期	⑤女性 91 歳 要介護 4 三男様より「きつい口調で対応する職員がいる。」と母親から聞いた。言葉に気をつけて欲しいと申出がある。	本人様に安心していただける声かけの指導をすることを伝えお詫びする。
	⑥女性 97 歳 要介護 4 次女様より「母親の部屋が汚く、整理整頓が出来ていない。食事介助の際、職員が立って介助している。」と申出がある。	食事介助の指導、環境整備をして清潔保持することを伝え、お詫びする。
	⑦女性 97 歳 要介護 4 次女様より「職員のもの言い方が上からしゃべる、ヤクルトの件の時も話を決めつけて話をする。」と申出がある。	話し方、対応について指導をすることを伝えお詫びする。

(4) 防災訓練

日 時	内 容	協力機関
5 月 15 日	・ 火災通報装置の取り扱い訓練	日本報知機三重
7 月 30 日	・ 講義：福祉避難所の設営について ・ 大雨・洪水災害訓練 情報収集、非常食の試食、配膳リレー	鳥羽市防災危機管理室・ 介護保険係
10 月 20 日	・ 地震防災避難訓練 ・ 福祉避難所の設営・要配慮者受入れ訓練	鳥羽市防災合同訓練
11 月 6 日	・ 火災通報装置・ガス供給元弁取り扱い訓練	日本報知機三重 志摩ガス
3 月 14 日	・ 夜間想定防災訓練 消火・通報・避難訓練	日本報知機三重

10 月 20 日避難所設営訓練



3 月 14 日夜間想定訓練



(5) 事故報告状況 (5 件)

	鳥羽市	津市
骨折：右大腿骨頸部	2	1
骨折：左大腿骨頸部	1	
誤薬	1	

(6) 感染症について

インフルエンザ	入居者	1名
	職員	3名

(7) 地域活動

日時	内容	団体
平成30年10月20日	鳥羽市防災合同訓練：福祉避難所設営・要配慮者受け入れ訓練	鳥羽市（福祉避難所の指定を受けています）
年6回	事業所相互の連携を図り、地域のネットワーク作りをしました。	鳥羽市サービス事業者連絡協議会施設部会
月2回	鳥羽市介護相談員受入	鳥羽市

(8) 実習生の受入れ

月日	機関	内容
7月6日～10日	鳥羽高校（総合福祉）2年生1名	就業体験
7月9日～13日	皇學館大学2年生1名	介護体験（教員免許法）
8月1日	加茂中学校3年生1名	一日福祉体験
8月14日	鈴鹿医療科学大学2年生2名	ボランティア体験
9月3日～7日	佛教大学3年生1名	介護体験（教員免許法）
9月～11月（11日）	鳥羽高校3年生1名	社会体験実習
10月15日～19日	皇學館大学2年生1名	介護体験（教員免許法）

三重県立鳥羽高校生の就業体験



(9) 地域における公益的な取組

〈目 的〉

地域の課題に向き合い、住民と協働して生き生きと暮らせる地域づくり、地域共生社会の構築に向けて、公益的な取り組みを推進する。

今回は、高齢者が楽しく学び、お互いが助け合い、孤立を防ぐために料理教室を開催しました。そして、地域のリーダー養成につなげていくことを目的としました。

〈日 時〉平成30年6月6日（水）午前9時～12時

〈場 所〉小浜公民館（元小浜小学校）

〈参加者〉小浜町老人会 25名

〈担当者〉あらしま苑2名（管理栄養士・施設長） うがた苑管理栄養士2名

〈内 容〉調理：主食：ひじきと生姜の炊き込み 主采：チキンロール

副菜：ほうれん草のトマト和え デザート：牛乳寒天

講義：高齢者の健康維持のため栄養の欠乏を防ぐ～たんぱく質をしっかり摂ろう～



〈所 感〉

調理実習に積極的に参加していただき、予定時間より早く出来上がりました。調理中、炊飯が途中で切れるハプニングがありましたが、参加者の知恵と工夫で美味しい味ご飯が出来ました。料理を作った後は皆さんで美味しくいただきました。参加者からは「自宅でも作ってみよう」「牛乳寒天はさっぱりしている」男性の参加者からは「トマトの和え物は、お酒に良い。チキンロールはビールが進む。」など好評でした。

小浜町老人会の役員さんには、料理教室の計画、参加者の集約、実施に向けてご協力いただきました。共同しての開催は、高齢者が楽しく学び、お互いが助け合うことが出来る場、高齢者の孤立を防ぎ、いきいき暮らせる地域づくりの手助けが効果的に出来たと考える。また、地域で活動が続けることによって、今後の地域のリーダー養成にもつながります。

〈参加者アンケート結果〉回答 25名

質問1 食事を作る時、何を重点に置いていますか。（複数回答）

栄養	好み	価格	材料の入手しやすいもの	調理が簡単なもの	満腹感のあるもの
16名	15名	7名	17名	15名	6名

質問2 健康に過ごすため、食事で気をつけていること

- ・いろいろ好きな物を食べないよう気をつけている
- ・健康に良い鶏肉と豚肉、やさい、くだものなどるようにしていきたいと思います
- ・肉、魚類を食べるようにしている
- ・栄養のバランス、バランスの良い食事
- ・野菜を多く摂れる様に気をつけています
- ・魚肉類は交互に食べること（1日ごと）
- ・糖尿のため、塩分、甘さ、油濃いもの、気をつけているつもりですがなかなか
- ・運動、歩くこと等の意見がありました。

質問3 次回どのような研修を希望されますか

今後も楽しく話が出来ると料理教室を続けて欲しい等の意見がありました。

(10)入居者食事調査の実施

〈目的〉日々のおやつや、毎月開催している喫茶コーナーのメニューの参考にするため

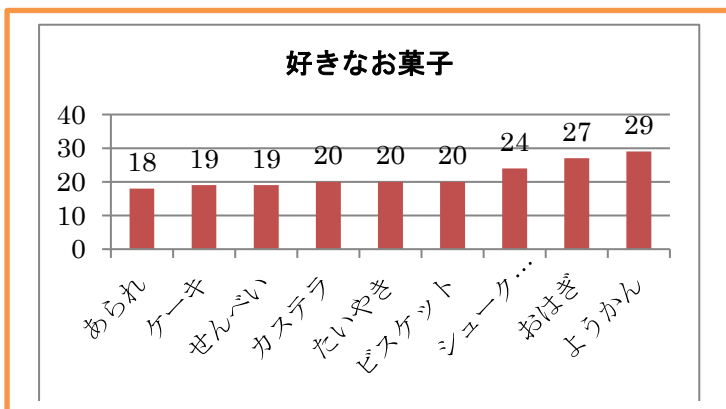
〈調査期間〉平成30年11月12日～11月21日

〈対象者〉あらしま苑入居者72名（男性15名 女性57名、年齢：68歳～104歳）

〈調査方法〉本人記入、家族に聞く、職員が聞き取る

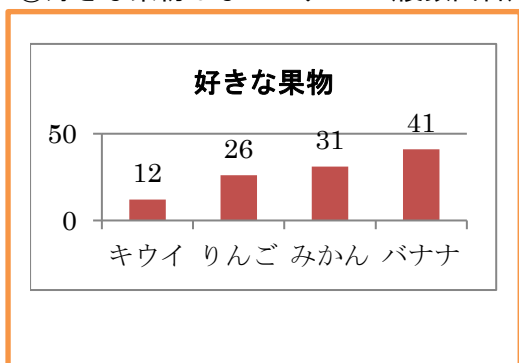
〈結果〉回答率96%（回答69名、無回答3名）

①好きなお菓子はありますか？（複数回答）

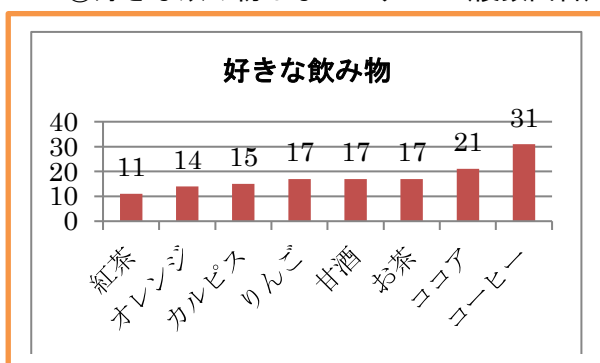


洋菓子	： 14名
和菓子	： 50名

②好きな果物はなんですか？（複数回答）



③好きな飲み物はなんですか？（複数回答）



〈考察〉

日々のおやつや、毎月開催している喫茶コーナーのメニューの参考に嗜好調査を実施した。選択肢は、現在提供しているメニューのなかで代表的なものを挙げた。

① 洋菓子に比べ和菓子が好きという方が3.5倍と大きな差がみられた。あんこを使用したようかん・おはぎが1位・2位を占め、次いでシュークリームが選ばれた。それ以外のお菓子はさほど票数に差がみられず、満遍なく支持がある結果となった。上位3つに選ばれたお菓子は現在、提供頻度が少ない。最も票が多く集まったようかんは、どの食事形態の利用者にも摂取できるよう、手作りの軟らかいようかんを毎月のおやつに取り入れていきたい。おはぎやシュークリームは、全利用者への提供が難しいが、喫茶メニューで取り入れ、利用者に好まれるおやつの提供へとつなげていきたい。

② 果物ではバナナが最も票が多く、次いでみかん・りんごという結果であった。キウイフルーツは極端に票が少なかった。その他の意見として柿が挙げられた。生の果物は、鮮度保持の難しさや作業工程が複雑になるため、提供頻度が少ないのが現状です。今後は、季節感のある果物を行事食に取り入れていきたい。

③ 飲み物ではコーヒーやココアに票が多く、比較的にお茶を選ばれる入居者は少なかった。現代の高齢者にこれほどにもコーヒーが浸透しているのだとまざまざと意識させられた。引き続き、喫茶での定番メニューとしてコーヒーを用意し、その他の飲み物も今後の参考にしていく。

4. 人材確保

職員の満足度の向上、やりがいを持てる職場づくりを目的として以下の取り組みを行いました。

(1) 職員面談

明るく風通しの良い職場づくりのために全職員対象に役職者が面談を実施いたしました。

① 前期：5月に実施 後期：12月に実施

(2) 休憩室の確保・腰痛対策

2階ホールに職員が身体を休め、腰痛予防するための休憩場所を確保しております。

(3) 介護ロボットの導入

職員が安心して入居者支援を行うことが出来るようにセンサーマットを8台導入いたしました。

(4) 職員健康診断

5月	職員健康診断（夜勤対応者）	豊和病院
9月	ストレスチェック実施 （週30時間以上の勤務者）	豊和病院
11月	職員健康診断（全員） インフルエンザ予防注射	豊和病院

(5) 国家資格取得に向けての支援

学習室の環境を整備し、昼休み等を利用しての自主学習の奨励をしました。

- ① 介護福祉士受験費用の補助・自主研修経費の貸付
資格取得費用助成：介護福祉士受験者 3 名（15,300 円/1 名）
- ② 喀痰吸引等の実地研修にて修了者 2 名
- ③ 学習室の環境整備
資格取得に向けての教材等の購入

(6) 施設内勉強会

月 日	内 容	担当部署
4 月 3 日～5 日 4	豊和グループ 合同新人研修	役職
4 月 6 日～11 日	新人・中途採用者研修	役職
5 月	入居者虐待チェックの実施	身体拘束委員会
5 月 25 日	介護記録の書き方	教育委員会
6 月 25 日	食中毒対策（サラヤ株式会社）	感染症委員会
7 月 26 日	看取り勉強会	教育委員会
8 月 31 日	虐待防止勉強会	教育委員会
10 月 18 日	事故の予知、ヒヤリハットについて	教育委員会
12 月 17 日	感染症、ノロウイルス（サラヤ株式会社）	感染症委員会
12 月	ノロウイルス嘔吐処理実技訓練	感染症委員会
1 月 18 日	薬の知識（ひかり調剤薬局）	教育委員会
2 月 25 日	認知症高齢者の対応	教育委員会

(7) 外部研修の参加状況

職種	研修内容	主催者	延数
看護・介護職	オールジャパンケアコンテスト ユニットケアフォローアップ研修 終末期ケアの観察点とケアについて キャリアパス対応生涯研修（初任者・中堅・チームリーダーコース） 認知症講演会 ノーリフティングポリシー導入研修 地域権利擁護支援研修 OCSA	オールジャパンケアコンテスト 日本ユニットケア推進センター 三重県介護福祉士会 三重県社会福祉協議会 鳥羽市地域包括支援センター 名古屋市介護サービス事業所連絡研究会 三重県 フェイスプロジェクト	60

	アンダーマネジメント 認知症介護実践者研修 看護職員研修会 健康確保セミナー 介護施設における権利擁護推進養成研修 洋行研修 ユニットケア研修 介護技術講習会	三重県老人福祉施設協会 三重県 全国老人福祉施設協会 介護労働安定センター 三重県 日本青年会議所 日本ユニットケア推進センター 介護労働安定センター	
介護支援専門員 相談員 管理栄養士 施設長 事務員 設備保守	福祉栄養士研修会 改正労働法に関する説明会 働き方改革セミナー 志摩地域栄養士懇談会 オールジャパンケアコンテスト レジオネラ症防止対策講習会 多死社会における ACP みえの食のフォーラム 福祉避難所の設置運営に関する実務研修 福祉現場における ICT の活用 人権セミナー ノーリフティング全国大会 給食施設従事者研修会 会計担当管理者集中講座 施設ケアマネジャー研修 介護報酬加算算定推進セミナー 業種別老人福祉施設職員研修	三重県福祉栄養士研究会 三重県労働基準監督署 三重県労働基準監督署 県立志摩病院 オールジャパンコンテスト 伊勢保健所 県立志摩病院 伊勢保健所 三重県 三重県経営協 三重県 全国ノーリフティング推進協会 三重県 三重県経営協 全国老人福祉施設協会 三重県老人福祉施設協会 三重県社会福祉協議会	25

(8)退職者状況：8名（介護職6人 看護職1人 設備保守1人）

月	人数	理由
5	1	転職
9	2	高齢のため・転職
10	1	転職
1	2	転職・家庭の事情
3	2	転職

以上

特別養護老人ホーム うがた苑
平成30年度 事業報告書

1. 目標

(1) 法人理念：

豊かな感性と優れた専門知識を礎に、医療・福祉の連携を通じて、この地域社会に貢献し、和の心を大切に持って自己能力を高め、社会福祉法人の一員としてこの誇りを持ち、常に積極的に行動し社会的責任を果たすこと。

(2) うがた苑運営方針：

ご入居される方がいつまでも笑顔でくつろぎ、1人ひとりが安心して生活できる穏やかな暮らしを大切にします。

2. 運営状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(1) 月別稼働率 資料1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ユニット	97.5	95.6	100	99.6	100	100	98.6	97.5	89.5	89.0	89.2	88.4
多床室	88.2	90.6	92.2	97.7	99.9	99.7	99.5	98.5	99.6	96.9	99.3	98.7
SS ユニット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SS 多床室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 (平均)	93.75	93.1	96.1	98.65	99.9	99.8	99.0	98	94.55	92.95	94.25	93.55

(2) 月別入退所状況

【入所】資料2 入所実績は月末日の入居者数とする

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット 新規入所	2	4	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	13
ユニット 入所実績	57	60	60	60	60	60	59	56	53	54	54	53	
多床室 新規入所	2	1	5	5	1	1	2	3	1	4	1	2	28
多床室 入所実績	54	54	57	60	60	60	60	60	60	59	59	60	

【退所】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット	4	0	0	1	0	0	2	4	4	0	1	2	18
多床室	1	1	3	1	1	1	2	3	1	5	1	1	21

(3) 年間入退所場所状況 (平成31年3月31日現在)

【入所前】

	老人保健施設	特定施設	医療機関	家庭	認知症対応型	他の特養	その他	合計
ユニット	18	7	4	20	2	0	2	53
多床室	25	7	3	24	0	0	1	60
合計	43	14	7	44	2	0	3	113

【退所後】

	当苑でご逝去	医療機関でご逝去	医療機関	自宅	合計
ユニット	9	5	1	3	18
多床室	14	5	2	0	21
合計	23	10	3	3	39

(4) 入所者情報

①地区別入所者数 資料 3 平成31年3月31日現在

	志摩市	鳥羽市	南伊勢町	県外	その他	合計
ユニット	49	3	0	0	1	53
多床室	55	2	0	1	2	60
合計	104	5	0	1	3	113

②要介護度別入所者数 資料 4 平成30年8月31日現在

ユニット	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	2	8	0	10
女性	0	2	19	12	10	43
小計	0	2	21	20	10	53
多床室	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	1	3	6	4	14
女性	0	2	14	17	13	46
小計	0	3	17	23	17	60
合計	0	5	38	43	27	113

③平均要介護度/年齢 資料 5 平均年齢は、平成31年3月31日現在

ユニット	平均要介護度	平均年齢
男性	3.8	85.4
女性	3.7	89.0
全体	3.7	88.3
多床型	平均要介護度	平均年齢
男性	3.9	80.9
女性	3.9	88.0
全体	3.9	86.4

④医療的管理状況

処置内容	人数
胃ろう管理	4
インシュリン管理	0
フォルテオ注射	0

(4) 事業実績

①行事・レクリエーション

月日	内容	実施主体	備考
4月10日	お花見会	多床室	
5月10日	あじさいゼリー作り	多床室	
5月18日	パン作り	とき	
6月13日	パン作り	多床室	
6月12日・ 25日	たこやき作り	(ユ) うぐいす つばめ つる	
6月20日	ピザ作り	多床室	
7月29日	夏祭り	多床室	
8月9日・10 日・21日	流しそうめん	多床室・ユニット	
8月22日	笑みサロン	多床室・ユニット	事務所前
9月28日	バスハイク	多床室	
10月3日	あんみつ作り	多床室	
10月10日	お好み焼き	多床室	
10月24日	運動会	多床室	グローバルキッズ うがたと合同
10月26日	ベビーカステラ	(ユ) はくちょう かもめ	
11月7-9日	焼き芋	多床室・ユニット	
12月19日	クリスマス会	(ユ) つる とき	
12月20日	クリスマス会	(ユ) かもめ	
12月25日	クリスマス会	(ユ) つばめ	
12月26日	クリスマス会	多床室	
1月	鍋パーティー		
2月	誕生会	(ユ) かもめ	
2月21日	焼きそば	多床室	
2月22日			
3月25日	たこ焼き	多床室・ユニット	
3月27日			
3月29日	ぜんざい	多床室	
喫茶	毎月1回	多床室・ユニット	事務所前

(お花見会=体操・踊り)

(納涼祭=二胡・バンド)



②各種委員会の活動

委員名	開催頻度	内容
事故防止委員会	1回/月	ひやりはっと・事故報告書の内容を各委員で事例検証し原因、対応、再発防止対策等を協議した。 協議内容を今後の業務改善に役立てた。 指導監査より、ひやりはっとと事故報告の区分があいまいなため、委員会で話し合いを行い、うがた苑のルールを見直した。
身体拘束委員会	1回/月	身体拘束の実施事例を検証し、廃止に向けての取り組みを協議した。安易な身体拘束を行わないように、毎月の委員会で話し合いをもつとともに、勉強会にて全職員に伝達理解を進めた。
感染症・褥瘡委員会	1回/月	感染症の発生状況、褥瘡処置の実施状況を確認し、発症の予防や早期治癒に向けての取り組みを協議した。 研修などを実施し、職員の教育、知識やスキルの向上に努めた。 インフルエンザ流行期に、玄関前の掲示を拡大し、マスクや消毒、検温の徹底を行った。
給食委員会	1回/2ヶ月	委託業者も参加して、提供される食事への要望や改善点行事への協力などを話し合った。 また、ミスや事故の報告や事例検討を行い、再発が防止されるよう取り組みを協議した。
福利厚生・行事委員会	適時	定例の福利厚生事業、及び施設全体行事について話し合った。実施計画や事後の反省会を行った。
役職・ユニットリーダー会議	1回/月	業務改善について検討した。 問題事項や職員教育について多床室役職者とユニットリーダーで協議した。 うがた苑の勉強会をより多く行うとともに新人教育にもっと力をいれていくように検討した。
リスクマネジメント 運営委員会 人権委員会 衛生委員会	1回/月	各部署の活動報告、施設運営について検討した。 職員の安全衛生や人権問題について協議した。 ノーリフティングケア導入に向けて外部研修へ参加、内部研修を頻回に行うよう話し合いを行った。 外部研修への参加

		ストレスチェック制度導入
サービス担当者会議	1回/週	サービス計画に沿ったケアの実施がなされているか、変更すべき内容が無いかを検討した。 ご入居者様の自立した日常生活が支援できるよう各部署が協議を行った。
看取りケア委員会	1回/月	看取り介護指針を毎回話し合いし、随時うがた苑独自のものを提供できるよう話し合いを行った。 看取り介護の必要性と大切さを全職員で共有・提供できるように勉強会の開催を行った。
介護ロボット委員会	1回/月	ご入居者様の安全の確保、介護従事者の精神面の安定を図り、業務を見直しし、安全に介護が提供できるように教育を行った。

(5) 苦情相談状況 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

部署	内容
多床室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、床にわたぼこりやゴミが落ちている。 ・ 入所してからサイドテーブルが汚れたままである。
対処・指示	内容
	ご家族様に謝罪する。 → (結果) 全職員へご意見、苦情内容を伝え、今後同じことがないように指導を行う。対応内容について説明し、了承して頂けた。
多床室	・ 2.3 日前、面会に来た時、母が靴下を履いていなくてきづいたんやけど爪がすごく長かった。できれば、定期的に切ってほしいとのこと。
対処・指示	内容
	ご家族様に謝罪する。 → (結果) 全職員へご意見、苦情内容を伝え、チェック表を作成し、定期的に爪切りを行うよう指導する。対応内容について説明し、了承して頂けた。
多床室	本人が手荒く職員から介護されていると訴えあり。
対処・指示	内容
	ご本人様、ご家族様に謝罪する。 → (結果) 全職員へご意見、苦情内容を伝え、上記同様のことがないように指導を行う。対応内容について説明し、ご本人様・ご家族様双方とも了承して頂けた。
ユニット	お部屋替えをしたが、変わったユニットのご入居者様がうるさくて仕方ない。そういうことは、お部屋を変える際に伝えてほしい。
対処・指示	内容
	ご本人様、ご家族様に謝罪する。 → (結果) 不穏な利用者様も病気によるものであったが、謝罪すると了承される。
ユニット	姉が面会に来た際にあまり頻回に面会に来ないで欲しいと伝えられた。
対処・指示	内容
	同様のことがないように妹様に謝罪する。 → (結果) お姉さんに内容を確認し、妹様との認識の違いによるもので

	あったと判明した。
多床室	・入浴ときちんと洗ってもらえない。
対処・指示	内容
	ご本人様に謝罪する。 →（結果）全職員へご意見、苦情内容を伝え、今後同じことがないように指導を行う。対応内容について説明し、了承して頂けた。

(6) 事故状況（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

発生月	結果	傷病名	届出先
11 月 16 日	居室の中で座り込んでおり、動けない状況であった。	右大腿骨頸部骨折	志摩市介護保険課長

(7) 感染症罹患状況

発生月	病名	発症者	備考
該当なし			

(8) 防災訓練

実施日時	内容	備考
5 月 29 日 14 : 00～15 : 30	防災訓練（夜間想定の火災）	避難訓練 消火器訓練 放水訓練
11 月 19 日 14 : 00～15 : 30	防災訓練（夜間想定の火災）	避難訓練 消火器訓練 放水訓練



(9) 実習生・ボランティアの受入れ・職場見学

実施期間	内容	実習者
7 月 23 日～7 月 25 日	介護実習	柴原そうきさん（高校 2 年）

		生)
7月27日	職場見学	林有梨佐さん(志摩高校3年)
7月30日	職場見学	能瀬照彩さん(水産高校3年)

(10) 地域交流/ボランティア受入

実施期間	内容	実施者
7月29日	二胡	シンシア
7月29日	バンド	モジプール
随時(夏季中は中止)	パンのボランティア販売	丸仙製パン
ご入居者様がご家族様と一緒に買い物を楽しみ、地域の方との交流を図る。		

(11) 地域における公益的取り組み

① 地域の方との交流・笑みサロンを開催

笑みサロンとは、地域のお住まいの方々が気軽に集える場所を提供することで、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」を創造するための活動です。

サロンはそんな地域の方たちと入居者様が、定期的集まることで顔なじみなどの輪を広げ、いきいきとした生活を送ることを目的としています。具体的には、地域の方々にお茶会・カラオケ大会(浜島町)や演劇、踊り(大王町、志摩町)の発表会等の場を定期的に提供し入居者様と一緒に楽しんで頂くサロンを目指しています。

② みえ福祉の「わ」創造事業へ参加

家族やボランティアさんの方が来苑された際に、掲示やパンフレットにより、生活に困窮している方々に食料や物品、就労、住宅等を支援する事業の案内や説明を行っております。

実施期間	内容	実施者	場所
4月8日	体操・踊り等60名	大王民踊愛好会20名	1階本館多床室
7月29日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。ご家族様45名・ボランティア31名配布	相談員	1階交流ホール
11月26日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。浜島町の住民の方21名・社協職員2名配布	相談員	1階交流ホール
11月29日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。大王町の住民の方15名・社協職員2名配布	相談員	1階交流ホール
12月3日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。磯部町の住民の方20名・社協職員2名配布	相談員	1階交流ホール
12月5日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。志摩町の住民の方25名・社協職員2名配布	相談員	1階交流ホール
12月6日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。阿児町の住	相談員	1階交流ホール

	民の方 20 名・社協職員 2 名配布		
3 月 27 日	創造事業の窓口業務としてパンフレットにて説明を行う。ボランティア 8 名配布	相談員	1 階交流ホール

(12) 食事に関する嗜好調査 (管理栄養士)

嗜好や咀嚼、嚥下力にあった栄養計画を作成し、食事の提供ができるよう、嗜好調査を実施した。【調査対象者：ユニット 57 名/多床室 43 名】 ※経管栄養者 2 名を除く

① 主食形態人数

事業所	米飯	軟飯	粥	粥ムース
ユニット	10	21	12	7
多床室	13	15	20	11

② 主食変更希望者

○ パン食をご飯に変更 → ユニット 1 名/多床室 0 名

(13) 平成 30 年度介護保険サービス事業者等の実施指導

(三重県 子ども、福祉部福祉監査課)

① 実施日：平成 30 年 11 月 22 日

② 結果内容

改善事項	なし
口頭での指導	<ul style="list-style-type: none"> 施設サービスの質の評価をアンケート等で図ること 秘密保持に「家族等」も追記すること 事故、ひやりはっと報告書の区別方法を再検討すること 個別機能訓練加算について、評価をより具体的に記録すること 口腔衛生管理体制加算について、目標を記載すること 身体拘束等を行う場合、心身の状況等に応じた記録をすること 各ユニットにおいて、入居者の心身の状況等に応じたユニットケアを推進していくこと

(14) 職員健康診断

5 月	前期健康診断 (豊和病院)	夜勤職員対象
9 月	ストレスチェック実施 (豊和病院)	週 30 時間以上の勤務者
1 1 月	後期健康診断 (豊和病院)	全職員対象

(15) 国家資格取得に向けての支援

① 介護福祉士受験費用の補助、自主研修経費の貸付

資格取得費用助成：介護福祉士受験者 3 名 (3 名共：合格)・自主研修費貸付 3 名 (介護福祉士受験に向けて)

② 資格取得に向けての教材の購入

(16) 研修

① 内部研修

実施月日	内容	講師	対象者
5 月 24 日・31 日	事故防止について	介護副主任	全職員
6 月 7 日・14 日	食中毒について	管理栄養士	全職員
7 月 19 日・26 日	看取り介護について	介護主任	全職員

8月9日・16日・30日	虐待について	事務長	全職員
9月20日・27日	危険予測について	介護副主任	全職員
10月11日・18日	感染症について	看護師	全職員
11月1日・8日	褥瘡について	看護師	全職員
11月29日	褥瘡について	モルテン（業者）	全職員
2月7日・14日	事故防止について	介護副主任	全職員
3月7日・14日	虐待防止について	事務長	全職員

②外部研修

実施月日	内容	出張先	受講者部署／人数
4月20日	QOL向上に資するケアマネジメントへの評価指標の確立	東京都TFTBビル9F研修会	介護支援専門員／1名
5月17日	糖尿病の運動療法について	三重県立志摩病院	看護職/1名
6月13日	症状から考えられる病気いろいろ	三重県立志摩病院	看護職/1名
6月21日	要介護者の退院時の環境設定について	三重県立志摩病院	看護職/1名
7月12日	平成30年度介護報酬改定（栄養関係）の概要	三重県社会福祉会館	管理栄養士/1名
8月2日	誤嚥予防について	三重県立志摩病院	看護職/1名
8月10日	看取り期の方への介護方法と介護の役割	三重県社会福祉会館	介護職/1名
8月30日	身体拘束の記録のつけ方について	伊勢市生涯学習	看介護職/2名
9月27日	高齢者の口腔ケアの基本と実技	三重県総合文化センター	看護職/1名
10月3日	権利擁護について	三重県教育文化会館	相談員/1名
10月10日	介護保険事業所県立志摩病院連絡会	県立志摩病院	相談員/1名
10月18日	認知症やパーキンソンの知識	県立志摩病院	看護/1名
10月29日	問題のある職員への対応方法	三重県社会福祉会館	施設長/1名
10月30日	南勢志摩地域人権セミナーについて	県伊勢庁舎	介護/1名
11月6日	南勢志摩地域人権セミナーについて	県伊勢庁舎	介護/2名
11月9日	アンガーマネジメント～怒りの感情コントロールについて	伊勢トピア	介護/1名
11月13日	南勢志摩地域人権セミナーに	県伊勢庁舎	介護/2名

	ついて		
11月13日	ノーリフティング推進協会	大阪市中央公会堂	施設長/1名
11月19日-21日	ユニットリーダー研修	ガーデンシティプレミアム心斎橋	介護/1名
12月4日	感染症への知識を増やそう	県立志摩病院	看護/1名
12月10日	介護保険事業所県立志摩病院連絡会	県立志摩病院	相談員/1名
12月18日-22日	ユニットリーダー研修	特別養護老人ホーム神の園	介護/1名
1月16日	CTなど画像診断への知識をもとう	県立志摩病院	看護/1名
1月17日	ノーリフティングポリシー導入研修	名古屋医師会館6階	介護/1名
2月4日	消化器系の疾患について学ぼう	県立志摩病院	看護/1名
2月4日	生薬のはなし、便について	県立志摩病院	看護 21名
2月4日	働き方改革セミナー	プラザ洞津	施設長/1名
3月4日	頭痛から考えられる疾患について	県立志摩病院	看護/1名
3月8日	改正労働基準法に関する説明会	三重県総合文化センター	施設長/1名
3月8日	第19回統一地方選挙における不在者投票事務説明会	伊勢庁舎	事務長/1名 相談員/1名
3月14日	災害時の対応と救急法	伊勢トピア	介護/2名

(17) 求人活動

月日	内容	主催者	参加者/担当者
11月14日	合同就職会	志摩商工会	施設長/1名
3月6日	豊和グループ就職説明会	志摩商工会	施設長/1名

(18) 退職者状況

月	人数	事由	備考
4月	2	同グループ内異動	看護 2名
5月	1	私事	介護 1名
6月	1	契約終了	派遣職員介護 1名
8月	1	母親の介護	介護 1名
9月	2	他の同業者・同グループ異動	介護 2名
10月	2	引越し・同グループ異動	介護 2名
12月	2	自営業・他の同業者	介護 2名
1月	1	違う職種	介護 1名
2月	2	引越し・同グループ内異動	介護 2名
3月	2	引越し・私事	介護 2名

平成30年度事業報告

特別養護老人ホームふたみ苑では、定款で定める法人の目的及び基本理念に沿って事業を推進してきました。

1 目 標

(1) 施設理念

入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮し、施設内で入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるよう支援します。

また、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

(2) 平成30年度ふたみ苑行動方針

- ① 利用者及び家族満足強化
- ② 職員満足の向上
- ③ 地域との連携
- ④ 施設経営目標（施設の稼働効率を高め、経営の安定を目指します。）

上記の目標に沿って事業運営を実施いたしました。内容については以下のとおりです。

2 運営状況

(1) 月別稼働率（短期入所を含む）年平均98.8%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
98.9	98.9	99.4	97.8	98.5	98.2	96.3	98.4	99.4	100	99.4	100

(2) 短期入所利用者数及び延べ数（利用者2人：述べ4日）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 (1)	—	—	—	3 (1)	—	—	—	—	—	—	—

（括弧書きは、利用実人数）

(3) 月別入退所状況

① 入所者数 15人（男性5名 女性10名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	3	—	1	2	2	2	2	1	—	1	—

② 退所者数 14人（男性4名 女性10名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	2	1	3	—	3	2	0	1	0	1	—

(4) 年間入退所先状況

① 入所前施設等（16人）

老人保健施設	特定施設GH等	医療機関	家庭	他の特養
3	6	2	5	—

② 退所先（14人）

当苑で死亡	病院で死亡 (療養病床で死亡含む)	療養病床・他病院	他の特養
10（内看取り8）	2	2	0

(5) 入所者状況（平成31年3月末現在 男性13名 女性47名 計60名）

① 地区別入所者数

地区	伊勢市	鳥羽市	志摩市	明和町	度会町	津市
人数（60名）	52	2	1	3	1	1

② 要介護度・年齢別入所者数（平均要介護度3.8 男性4.08 女性3.72）

要介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
			2	8	3	13
男性			2	8	3	13
女性	2	3	15	13	14	47
合計	2	3	17	21	17	60

③ 年齢別入所者数（最高齢101歳、平均年齢86.3歳 男性82.9歳 女性87.2歳）

年齢 性別	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	合計
		1		2	5	4	1	13
男性		1		2	5	4	1	13
女性	1		1	5	8	11	21	47
合計	1	1	1	7	13	15	22	60

④ 医療的ケア等の状況

胃瘻	0
膀胱瘻	1
バルーンカテーテル	4
インスリン	2
人工肛門	3

3 事業実績

(1) 行事・ボランティアの協力等

	日	内容	参加人数	備考
4月	3日	お花見会（3月28日～4月3日）	全員	
	23日	喫茶コーナー	全員	
5月	8日～	職員健康診断	20名	夜勤者対象 5/1～5/30 で実施
	14日	地域ボランティア（さつき会）	全員	ボランティア7名による踊り
	28日	風疹麻疹の抗体検査	職員	
		虐待防止に向けた自己チェック	職員全員	
6月	1日～	蘇民菖蒲園遊歩道散策	9名	二見しょうぶロマンの森
	5日	マシュマロムース作り	10名	カシオペア
	6日	虐待防止自己チェック振り返り	職員全員	
	20日	シャンソン歌手による歌謡ショー	全員	歌手高杉美晴ボランティア
	21日	入居者健康診断	全員	レントゲン撮影対象 55名
	28日	喫茶コーナー	全員	
7月	26日	喫茶コーナー（アイスクリームの提供）	全員	アイスクリームの提供
	23・30日	入居者定期健康診断	全員	
8月	10日	スイカ祭り	全員	
9月	19・20日	回転寿司	ユニット	カシオペア・オリオン
	21日	プリンデコレーション	ユニット	ジュピター・ビーナス
	27日	地域ボランティア（歌と踊り）	全員	一色町文月会9名
10月	4日	オムライスづくり	ユニット	アリエス
	23日	食欲の秋バルコニーでサンマ塩焼き	ユニット	オリオン
	26日	食欲の秋バルコニーでサンマ塩焼き	ユニット	カシオペア
	29日	回転寿司（1Fホール）	ユニット	ジュピター・ビーナス
11月	1日	インフルエンザ対策（検温・マスク開始）	全員	職員・来苑者
	1日～	インフルエンザ予防接種開始	全員	入所者・職員
	1日～	職員健康診断	全員	
	1日	デザートバイキング（2F 談話コーナー）	ユニット	ペガサス・アリエス他
	7日	ソフトクリーム作り	ユニット	カシオペア・オリオン
	7日	喫茶コーナー（ワッフル焼き）	ユニット	ジュピター・ビーナス
	22日	ボランティアによるフラダンスショー	全員	エ・レイ・ノアウ・イアロアアメリオ

12月	4日	喫茶コーナーで焼き芋	ユニット	ジュピター・ビーナス
	5日	たい焼き (2F 談話コーナー)	ユニット	カシオペア・オリオン
	6日	たい焼き・焼き芋	ユニット	ペガサス・アリエス
	13日	喫茶コーナー (あんまん肉まん提供)	全員	
	19日	握り寿司	全員	
	25日	クリスマス会	全員	
1月	17日	喫茶コーナー (あんまん肉まん提供)	全員	
	23日	雑煮作り (介護食) 柔らか福もち使用	ユニット	
	31日	地域ボランティア (日本舞踊)	全員	さつき会 9名
2月	20日	ユニットで伊勢うどん作り	ユニット	アリエス
	26日	ユニットで中華そば作り	ユニット	カシオペア・オリオン
	26日～	ひな人形鑑賞と写真撮影	全員	
3月	～3日	ひな人形鑑賞と写真撮影	全員	
	7日	長生き音頭と体操	20人	参加できる方
	13日	喫茶コーナーとカラオケ	全員	
	23日	ボランティアによる神宮参拝	5名	NPO バリアフリーツアーセンター 20名
	27日	喫茶コーナー (ベビーカステラ作り)	全員	



4月3日 お花見会



6月20日 シャンソン歌手による歌謡ショー



8月10日 スイカ祭り



10月29日 回転寿司



11月22日 フラダンスショー



3月23日 神宮参拝

(2) 各種委員会の活動

事故防止委員会 (1回/月)	<p>事故防止・ひやりはつの判断基準の見直しを行うとともに、ひやりはつと・事故事例を検証・原因究明し、再発防止策を検討しました。事例、決議事項を全職員に周知徹底し、改善に向けた取り組みを行いました。事故予防の観点より、危険要因の排除 安全管理体制の確立。保険者提出事故報告件数 (8件)</p> <p>また、介護職員全員を対象に事故防止に向けた研修を実施し、事故に対する職員の意識を高めました。</p>
身体拘束廃止虐待防止委員会 (1回/月)	<p>身体拘束の現状を把握するとともに、身体拘束廃止に向けた研修会を実施し、廃止に向けて取り組みました。</p> <p>身体拘束実施者 (H31年3月末2名)</p> <p>虐待防止に向けた自己チェックを実施するとともに身体拘束廃止に向けた研修会を実施しました。</p>
感染症褥瘡委員会 (1回/月)	<p>手洗いうがいチェック等感染症に対する職員教育・指導を行いました。また、看護師による吐物処理の実演をし、ノロウイルス発生時の対応手順の見直しを行いました。</p> <p>インフルエンザ感染予防のため、職員・来苑者・入居者の検温・マスクの着用・アルコール消毒を実施しました。</p> <p>ブレードスケールによって統一した評価を行い、褥瘡発生の危険性を把握するとともに、褥瘡発生者に対しては定期的な創の計測・撮影により状態を把握し、改善へと進みました。また、褥瘡予防用具研修会を実施し、褥瘡に対する職員教育・指導を行いました。</p>
給食委員会 (1回/二ヶ月)	<p>嗜好調査を実施するとともに、給食の委託業者も参加し、誤嚥防止や脱水予防、入居者の栄養改善に向けての取り組み等について検討しました。</p>
ユニットリーダー会議 (1回/月)	<p>入居者の生活改善 (生活リハ・口腔ケア・身だしなみ・車椅子の使用・居室の整理) について検討しました。また、新人・中途採用者の教育指導、入居者のユニット編成、研修の伝達方法、ユニット職員の編成等について検討しました。</p>
看護会議 (1回/月)	<p>看護業務の見直し、改善について検討しました。</p> <p>リハビリの内容の検討、インフルエンザの予防注射・職員健康診断の実施調整等を行いました。</p> <p>病院受診の采配と付き添いがスムーズに行えるようマニュアルとフローチャートを作成しました。</p> <p>入院時間問題なく情報提供ができるよう新しい看・介護サマリーの作成しました。</p>

リスクマネジメント・運営会議・衛生委員会・防災委員会 (1回/月)	各会議の決定の承認、施設全体の問題点を検討し改善策を検討しました。
サービス担当者会議 (各ユニット月1回)	入居者が自立した日常生活を営むことができるようにサービス計画を各担当者と検討しました。

(3) 苦情相談状況

項目	件数	内容
上期	1	(内容) 昨年引き続き、入居者のご家族から、施設内の空調について冷房が効きすぎていることがあると指摘をもらった。 また、部屋にゴキブリがいたので対応してほしいと要望がありました。
		(結果) リスクマネジメント委員会・運営会議で検討し、福祉施設等の室温の設定については、特段の定めはありませんが、「病院施設における室内環境の衛生管理に関する研究」を参考に夏場の共同生活室の温度設定の目標を26℃～27℃とし、陽が差し込む時間や部屋の状態に応じて適宜エアコンの設定を変更することを説明した。また害虫駆除については、外部からの侵入を防ぐため、殺虫剤を苑内敷地に散布することで了解を得られた。
下期	1	(内容) 伊勢市介護相談員に対して、一人の入居者様から特定の職員Aに対しての相談があった。内容は、「私はあの人を殺してやりたい」「一緒にいたくない」「目薬を開けたまま部屋に持ってくる。埃がつくのでやめてほしい。」等々の訴え。
		(結果) その入居者様と面談し詳細を尋ねる。暴力行為等はないが言葉使いなど職員Aを生理的に受け付けないという理由であった。 職員Aと面談したところ若干の食い違いがあったが、目薬の渡し方から変えていくことと丁寧な言葉使いに心掛け、対応するよう指導した。 伊勢市介護相談員からその後の相談苦情は出ていないことを確認した。 また、相談のあった入居者様とも面談したところ、その後の対応は良くなっていることを確認した。

(4) 保険者への事故報告状況（8件）

発生日時	医療機関名	傷病名等	届け出先
4月16日	伊勢赤十字病院 外来	恥骨・坐骨骨折	伊勢市介護保険課
5月5日	山本医院 外来	股関節異常なし	〃
5月26日	岡田整形外科 外来	左中手骨骨折	〃
6月15日	山本医院 外来	第1・第3腰椎骨折	〃
7月8日	藤井整形外科 外来	左橈骨遠位端骨折	〃
10月18日	伊勢赤十字病院 入院	左大腿骨頸部骨折	〃
11月27日	藤井整形外科 外来	左足底弓蓋腫脹	〃
1月13日	伊勢赤十字病院 外来	右上腕骨近位端骨折	〃

(5) 感染症について

インフルエンザ	入居者	無し
	職員	介護職3名

*職員の健康診断：5月（夜勤対応者）、11月（全員）に実施しました。

*職員のインフルエンザ予防接種：11月に実施しました。

*インフルエンザ感染予防のため、11月から3月まで職員出勤時及び来苑者全員並びに入居者全員について、検温・マスクの着用・アルコール消毒・次亜塩素酸水の噴霧等の励行をお願いしました。

(6) 防災訓練等

開催日時	訓練内容
4月27日	非常食訓練
10月18日	防災訓練（昼間想定）
3月18日	防災訓練（夜間想定）



4月27日非常食訓練



10月18日防災訓練（昼想定）



3月18日防災訓練（夜想定）

(7) 地域活動

① 地域交流活動

日 時	内 容	参加人員
8月19日 1月8日	年二回開催される三津区稲生神社の大祭に参加し、地域住民の皆様方との交流を深めました。	各1名
5月14日、6月20日、 9月27日、1月31日、 3月23日	地域ボランティアさつき会・シャンソン歌手、一色町文月会・さつき会、NPOバリアフリーツアースセンター（皇学館大学学生等）等との交流	地域ボランティア 延べ47名と入居者 全員のふれあい
11月から月1回	2名の伊勢市介護相談員を受け入れ、サービス利用に関する要望、疑問、苦情、不安等を聞き取り、安心してサービスを利用できるようにするもの。	入居者全員対象

② 近隣地域の実習生の受け入れ（職場体験）

三重県及び三重県社会福祉協議会から依頼を受け、伊勢市周辺にお住いの希望者に職場体験をしていただきました。

期 間	内 容	備 考
6月27日～28日	職場体験研修生受け入れ2名	三重県新規採用職員研修2名
7月 4日～ 5日	職場体験研修生受け入れ3名	三重県新規採用職員研修3名
7月11日～12日	職場体験研修生受け入れ2名	三重県新規採用職員研修2名
7月19日・23日	職場体験研修生受け入れ2名	三重県社会福祉協議会実施の 介護職員初任者研修受講生
9月27日～28日	職場体験研修生受け入れ1名	三重県社会福祉協議会実施の 介護職員初任者研修受講生

(8) 栄養部の状況

① 口腔ケア会議及びミールラウンドの開催について

入居者が認知機能や摂食・嚥下機能の低下等により食事の経口摂取が困難となっても、自分の口から食べる楽しみを得られるよう、協力歯科医療機関「デンタルクリニックたかはし」の高橋歯科医師ほか多職種による支援の充実を図っています。摂食・嚥下障害を有する入所者や食事摂取に関する認知機能の低下が著しい入所者の経口維持支援を充実させる観点から、多職種による食事の観察（ミールラウンド）や口腔ケア会議等の取組のプロセス及び咀嚼能力等の口腔機能を含む摂食・嚥下機能を踏まえた口腔ケア

マネジメント計画に基づく経口維持支援等を行ないました。

- 開催回数7回（各月1回（口腔ケアマネジメント計画を検討）、ただし、ミールランドの対象者がいなくなったので10月以降実施していない。
- 対象者：入居者4名（男性2名 女性2名）
- 出席者：歯科医師・看護師・管理栄養士・介護支援専門員・生活相談員・介護職員

② 給食だよりについて

平成30年度については、給食だよりを6部発行しました。それぞれ、HPへの掲載をはじめ、ふたみ苑玄関掲示板と エレベータ内へ掲示し、ご家族等来苑された皆様に読んでもらっています。



平成30年4日月発行



平成31年2月発行

③ 食事調査

- 調査期間：平成30年10月22日
- 対象者：入居者58名中55名（男性11名、女性44名）
- 調査方法：職員が本人に聞き取る
- 結果：回答あり37名、回答なし18名

《思考調査結果》

好きなもの		嫌いなもの		一番食べたいもの	
寿司	7	魚	4	寿司	5
甘いもの	6	鶏肉	2	果物	4
果物	4	野菜(特に葉物)	2	刺身	3
肉	3	甘いもの	1	伊勢うどん	3
伊勢うどん	3	油もの	1	スイカ	3
魚	2	チーズ	1	甘いもの	3
酢の物	2	酢の物	1	牛肉	1
酒	2	カレー	1	ビフテキ	1
刺身	1	辛いもの	1	おはぎ	1
揚げ物	1	鯖	1	カツ丼	1
卵料理	1	うどん	1	うなぎ	1
カレーライス	1	牛乳	1	アユ	1
		そば	1	生野菜	1
		ネバネバ野菜	1	カキ	1
		大根	1		

【考察（H30.10.22）】

好きなもの・食べたいもの、ともに1番は寿司であった。寿司ではなく刺身を食べたいと言われる方もいたため、1月に刺身を提供する予定である（元旦に提供）。

果物を食べたい方が前回よりも増えていた。夏にスイカを提供したユニットもあったため、今後も季節に応じた果物を提供出来るようにしていきたい。

一番食べたいもの伊勢うどんと多く答えたユニットがあったため、1人前の伊勢うどんを作ろうと、調整中である。

甘いものが好き・食べたいという方が多いため、様々なおやつレクリエーションを考えていく。

(9) 社会福祉施設指導監査（三重県子ども福祉部福祉監査課）

① 実施日 平成31年2月21日

② 監査結果 平成31年3月13日

改善事項	なし
指導事項	なし
講評 (口頭指導)	1 居室のタンスの転倒防止策を検討すること。 ⇒ 対応済み 2 消防計画に基づく自主点検について計画と異なるので計画の見直しを行うこと。 ⇒ 計画変更の必要がないことを伊勢消防本部で確認済み 3 夜間想定防災訓練について課題を整理し対応手順等に生かせること。 ⇒ 毎回実施している

(10) ふたみ苑診療所立入検査（三重県伊勢保健所）

① 実施日 平成30年7月2日

② 実施結果 平成30年8月29日

指導事項 なし

4 人材確保

職員の満足度の向上、やりがいを持てる職場づくりを目的として以下とおり職員面談や研修等の取り組みを行いました。

(1) 職員面談（実施期間7月、11月）

明るく風通しの良い職場づくりのために全職員対象に役職者が面談を実施いたしました。

(2) 職員健康診断

5月	職員健康診断（夜勤対応者23名）	豊和病院
10月	ストレスチェック実施33名	豊和病院
11月	職員健康診断（全員） インフルエンザ予防注射	豊和病院

(3) 求人活動

月 日	内 容	場 所
平成 30 年 7 月 8 日 平成 30 年 8 月 19 日	福祉・介護・看護の就職フェア ハローワーク面接相談会	メッセウイングみえ（津市） ハローワーク伊勢（大山ビル）

(4) 内部研修（述べ 244 名）

月 日	内 容	講 師
平成 30 年 4 月 17 日	ユニットリーダー対象の看取り研修 7 名	看護師
平成 30 年 4 月 27 日	非常食訓練（各ユニット 14 名出席）	管理栄養士
平成 30 年 5 月 14 日 28 日、6 月 28 日	危機管理研修（薬について）21 名	ひかり調剤薬局
平成 30 年 5 月 21 日 ～H30 年 5 月 31 日	高齢者虐待についての自己チェック 42 名	身体拘束廃止虐待防止委員長
平成 30 年 6 月 27 日	紙おむつの当て方研修会 11 名	カミ商事株式会社
平成 30 年 7 月 23 日・ 30 日	身体拘束廃止研修会 29 名	
平成 30 年 7 月 24 日	紙おむつの当て方研修会 11 名	カミ商事株式会社
平成 30 年 7 月 27 日	施設における感染症（食中毒）研修会 12 名	サラヤ株式会社
平成 30 年 8 月 20 日 23 日、27 日	ビデオによる虐待防止研修と話し合 い 27 名	施設長、看護師、身体拘束廃止 虐待防止委員長
平成 30 年 10 月 4 日	感染性汚物処理研修（消毒までの工程 の実演）12 名	
平成 30 年 11 月 6 日 ～12 月 7 日	身体拘束廃止研修 21 名	ユニットリーダー
平成 30 年 12 月 3 日 ～15 日	虐待防止に向けた自己チェック 31 名	身体拘束廃止虐待防止委員長
平成 31 年 1 月 16 日 2 月 1 日	中途採用職員等研修 6 名	施設長・介護部長・看護主任

(5) 外部研修 (50名)

職 種	研修内容	主催者	延 人数
介護職員	社会福祉施設等新人職員研修 H30. 4. 26	三重県社会福祉協議会	1
介護職員	OC SA研修 H30年7月～10月	株式会社フェイスプロジェクト	21
介護職員 事務職員	介護現場で役立つレクリエーション H30. 5. 10	介護労働安定センター三重支所	2
介護職員	職場体験事業所指導担当職員研修 H30年5月11日	三重県社会福祉協議会 福祉人材センター	1
生活相談員	H30 介護報酬加算算定推進セミナー H30年5月19日	三重県老人福祉施設協議会	1
事務職員	知って得する介護保険事務の流れ・算定 のポイント H30年6月21日	三重県社会福祉協議会	1
介護職員 生活相談員	社会福祉施設における防災研修 H30. 6. 26	三重県社会福祉協議会	2
介護職員	キャリアパス対応生涯研修中堅コース H30年9月26日～27日	三重県社会福祉協議会	1
介護職員	平成30年度喀痰吸引等研修 H30年8月～H31年2月	三重県社会福祉協議会	1
介護職員	ユニ・チャーム排泄ケアセミナー H30年8月25日	ユニ・チャーム会株式会社	1
生活相談員	伊勢志摩ブロック相談員部会研修会 H30年8月30日	三重県老人福祉施設協会	1
介護職員 事務職員	平成30年度防災研修 H30年10月18日	伊勢市介護保険サービス事業者 連絡会	3
生活相談員 介護職員	アンガーマネジメント研修 H30年11月9日	三重県老人福祉施設協会	2
事務職員	労務管理研修会 H30年10月29日	三重県社会福祉法人経営者協議 会	1
介護職員 事務職員	南勢志摩地域人権セミナー H30年10月30日	三重県南勢志摩地域活性化局地 域活性化防災室	2
事務職員	ノーリフティング推進協会全国大会 H30年11月13日	全国ノーリフティング推進協会	1

事務職員	三重県交通労働災害防止大会 H31年1月17日	三重県労働局	1
事務職員	働き方改革セミナー H31年1月18日	三重県働き方改革支援センター	1
管理栄養士	平成30年度給食施設管理者研修	伊勢保健所	1
介護職員	平成30年度地域権利擁護支援研修	三重県医療保険部長寿介護課	1
介護職員	ノーリフティングケア実施施設見学	フラワーコート江南	4

(6) 国家資格取得に向けての支援

学習室を整備し資格取得に必要な教材を購入

(7) 雇用管理責任者の設置

男女の雇用管理責任者を設置し介護労働者等から相談等がしやすい体制を整えました。

(8) 退職者状況（介護職7名 看護職3名）

項目	人数	理由	職種
4月	2	高齢のため、給与面で転職	介護職2
6月	1	夫の転勤（津市）	看護職パート1
7月	1	自宅近辺の施設へ	介護職1
8月	2	母の病気・体力面	看護職パート1、介護職1
9月	2	他施設へ転職、一身上	介護職2
10月	1	病院事務に転職	介護職パート1
12月	1	夫の介護のため	看護職1

(9) みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所

平成31年3月8日付けで提出していた「みえ働きやすい介護職場取組宣言」申請について、平成31年3月29日付けで三重県知事から「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」の名称の使用を認める証明書が交付されました。

有効期間 平成31年3月29日～平成33年3月28日

宣言内容 内部・外部の研修会を充実させ、誇りを持って働ける魅力ある職場を目指します。